



あきた企業活性化センターからのお知らせ

令和5年度ライフサイエンス人材育成事業セミナー

**完全  
リアル開催**

# 機能性食品を起点に 新分野への挑戦

農林水産資源が豊富な秋田県は、付加価値の高い商品開発を行うポテンシャルを持っています。

本セミナーでは、「食の安全性」「機能性成分」などをキーワードに、新商品や新サービス開発のヒントとして、幅広い分野の開発事例を紹介します。食品業界に関わる方はもちろん、さまざまな分野の皆様のご参加をお待ちしております。

令和6年 2月20日(火) 13:30~15:50

会場 秋田県総合食品研究センター 1F 研修室1 秋田市新屋町字砂奴寄4-26(駐車場無料)

基調講演1 13:35~14:05

## 食の安全と機能性について～奥野製薬工業の開発品から展望する～



奥野製薬工業株式会社

常務取締役 大塚 邦顯 氏 (おおつか くにあき)

表面処理薬品や食品品質改良剤の開発に40有余年従事し、その間、表面技術協会とエレクトロニクス実装学会の副会長など学会でも精力的に活動。現在は同社の新規事業創出に邁進中。

本セミナーでは、日持ち向上剤の変遷および廃棄食材のアップサイクルについて、開発コンセプトや効果を紹介する。

基調講演2 14:15~14:45

## 肝臓ヒト化マウスの医薬品開発への利用をめざして



株式会社フェニックスバイオ

取締役研究開発・生産部長 立野 知世 氏 (たての ちせ)

化学メーカーで肝発癌研究に従事。退職後、広島県で始まった国や広島県の研究プロジェクトに参加し、15年間肝臓の再生医学研究に携わった。その成果を元に立ち上がったベンチャー企業に2007年より参画し、医薬品開発のための実験動物や細胞に関する研究開発、および製薬企業などへ販売するヒト肝細胞キメラマウスやマウスから分離したヒト肝細胞の安定生産に日々取り組んでいる。

本セミナーでは、生き物相手ゆえの難しさなどを織り交ぜ、安定生産に至る研究開発ストーリーとこれからの展望を紹介する。

県内事例紹介 15:05~15:50

事例1 秋田県の取組み紹介 秋田県産業労働部地域産業振興課 医療福祉産業チーム

事例2 食品開発展2023における機能性関与成分分析をはじめとした自社技術紹介事例

株式会社リピドームラボ 研究開発部長 大戸 貴代 氏 (おおと たかよ)

事例3 あきた機能性食品素材研究会の紹介

秋田県総合食品研究センター醸造試験場 主席研究員 富 恵司 氏 (はた けいし)

申し込みフォームはこちらから▶

FAX申込フォームは、センターHPをご覧ください

あきた企業活性化センター



お申込み締切  
2月9日(金)

